

大巡思想の循環的経済観研究

大巡思想の循環的経済観を中心に、現代経済問題と宗教・倫理・経済の相互作用、
そして循環的な解決方策を探究する発表

発表者：[氏名]
]

日時：[日付]

場所：[場所]

研究背景および問題意識

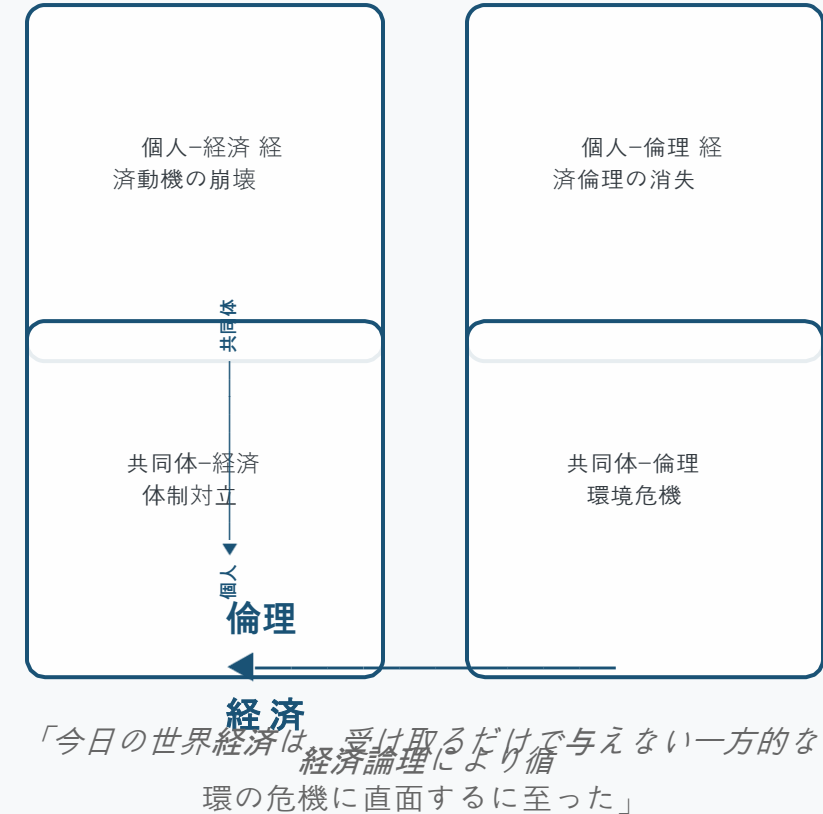
- シーシュポスの神話と現代人の永遠の苦痛：
経済的循環の麻痺
- 急速な物質的发展の中の倫理的・精神的危機
- 経済・倫理・宗教の好循環への不信
- 直線的合理化（鉄の檻）に陥った現代社会



「極度に発達した物質文明の中でも満足を知らない現代人の精神的苦痛は、現代人の経済哲学が儒仏道・西教に由来し、それ自体の存在だけでは問題を解決できない自由至上主義・共同体主義・社会契約主義・功利主義の枠に囚われ、循環の方法によってその枠から抜け出せないところにある。」

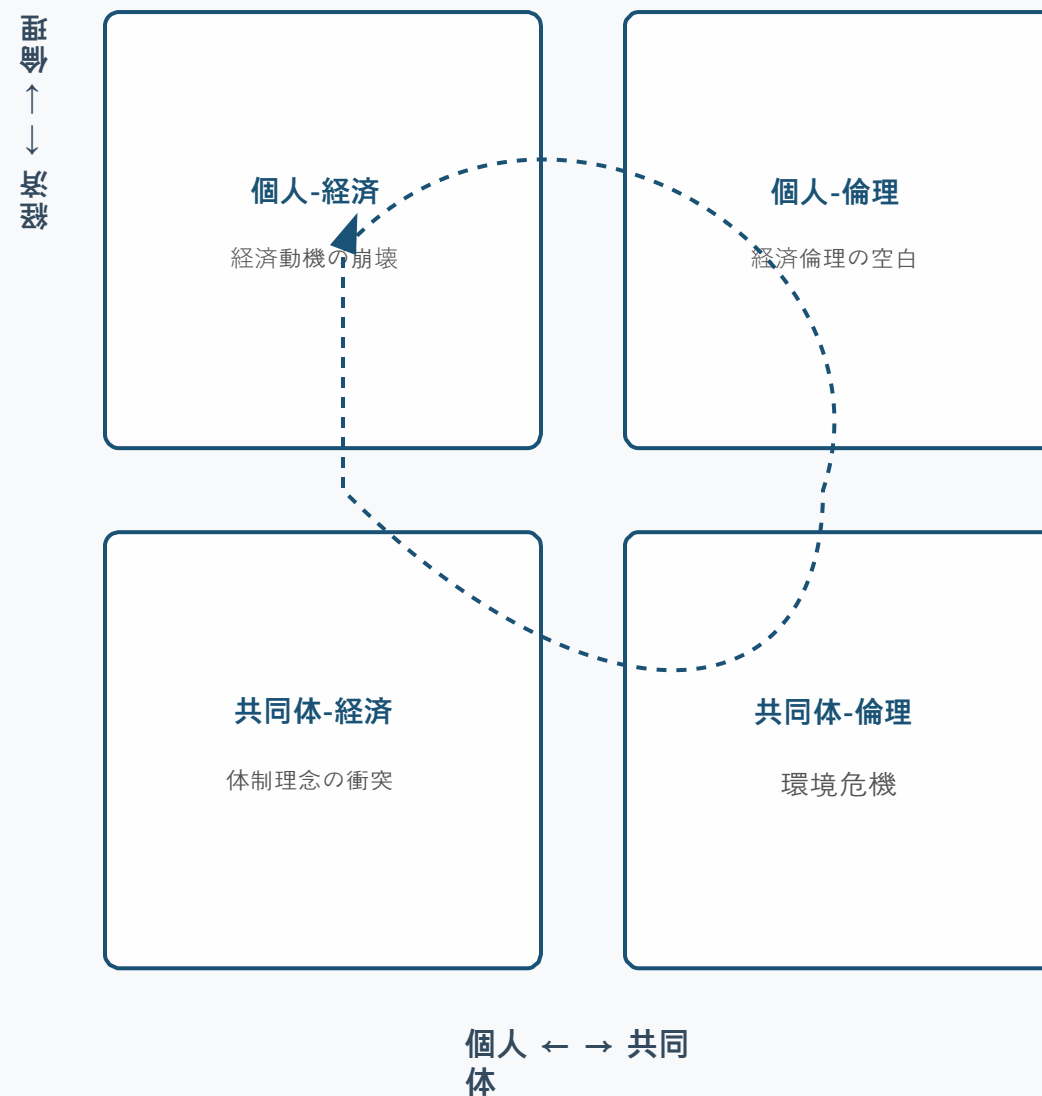
研究の必要性：循環の麻痺と経済危機

- 現代経済危機の核心：循環の麻痺
- 四つの循環的麻痺現象：
 - ① 個人-経済：経済動機の崩壊問題
 - ② 個人-倫理：経済倫理の消失
 - ③ 共同体-経済：資本主義-共産主義の体制対立
 - ④ 共同体-倫理：環境危機の問題
- 宗教と倫理の循環の復元が経済・社会危機の解法
- 東洋と西洋の思想の統合的解決方策



現代経済問題の構造

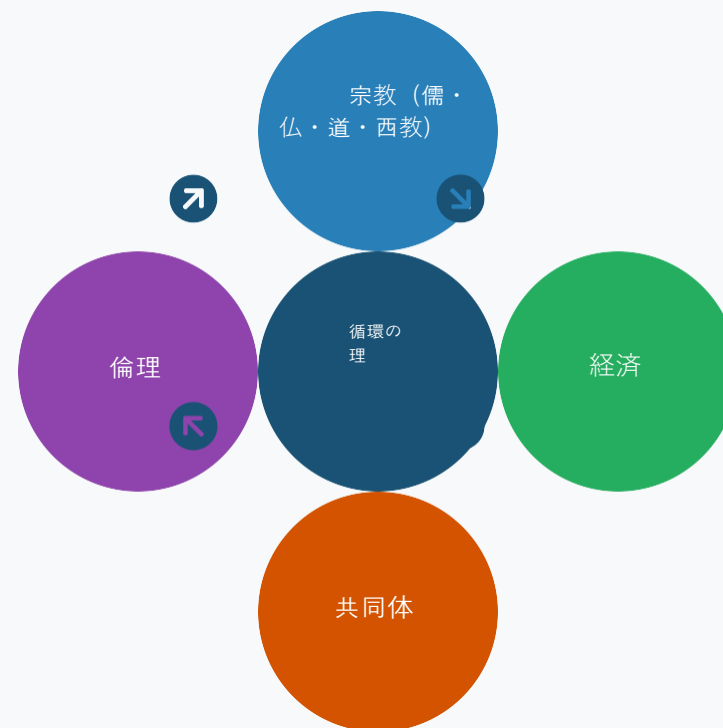
- 経済問題の四大軸：
 - 1. 個人-経済：経済動機の崩壊
 - 2. 個人-倫理：経済倫理の空白
 - 3. 共同体-経済：体制理念の衝突
 - 4. 共同体-倫理：環境危機
- 諸問題は互いに噛み合い循環構造を形成する



大巡思想の核心的経済概念

「金は循環の理により生じて用いる物である。」

- 経済と倫理、個人と共同体の相互循環を強調
- 儒・仏・道・西教の長所の統合 — 多元的循環性
- 循環的な再分配・流通による経済均衡の追求
- 天命（天命）・倫理優先の経済観の伝統
- 「徳（徳）は根本、財（財）は末端」— 倫理を優先してこそ経済の循環的再生が可能



大巡思想の多元的循環性：宗教・経済・共同体・倫理が相互に循環し調和をなす経済観

西洋経済思想の東洋的淵源

- 「利瑪竇（マテオ・リッチ）が東洋の文明神を率いて西洋で文運を開いた」
- 西洋近代文明の中国起源説（朱謙之、フランク、ギャヴィン・メンジーズなど）
- ウェーバーの「経済思想＝宗教思想」の観点と東西思想の循環
- 世界文化のアイデンティティ危機克服の糸口としての循環的交流の重要性

「西洋が決定的に資本主義体制を発展させることができたのは、当時最も富裕であった中国を発見したためである。」



マテオ・リッチ（利瑪竇）は16世紀末に中国に到着したイエズス会宣教師であり、中国の経済思想と文化が西洋へ伝播する重要な媒介の役割を果たした。彼の活動を通じて東洋の経済思想が西洋に伝播し、これは後に西洋近代資本主義の発展に重要な影響を及ぼした。

先行研究の検討

- 類型別の三大研究軸：
 - 1. 西洋経済思想の東洋的淵源に関する研究
 - 「利瑪竇（マテオ・リッチ）が東洋の文明神を率いて西洋で文運を開いた」
 - 中国起源説（朱謙之、フランク、メンジーズなど）
 - 2. 大巡思想の循環的経済理論と貨幣の研究
 - 「金は循環の理により生じて用いる物である」
 - ウェーバー、ジンメル、ボードリヤール、ブルデューなど
 - 3. 贈与論、複雑系経済学、東西の循環的経済に関する研究
 - 韓泰東の宗教論理学、李基東の日中韓比較
 - モース、ポランニー、ブローデルなどの歴史的経済循環

宗教別の経済倫理方法論の比較

区分	個人-経済	個人-倫理	共同体-経済	共同体-倫理
経済倫理	自由至上主義	社会契約主義	功利主義	共同体主義
方法論	実証主義	現象学	構造主義	関係主義
主要な学者	ウェーバー	ジンメル	ボードリヤール、ブルデュー	マッキンタイア、サンデル
宗教との関連性	西教（カルヴァン主義）	儒教	仏教	道教

循環的經濟觀による解法

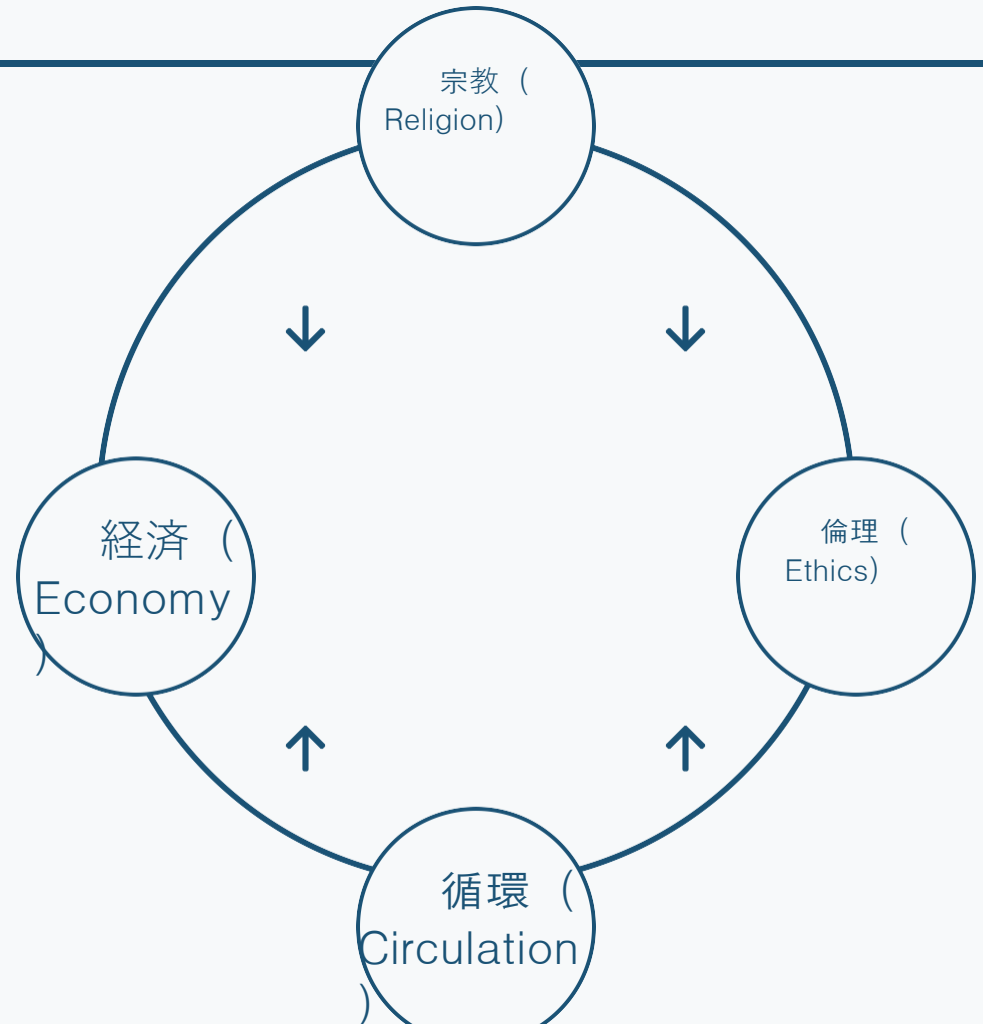
- 経済・倫理危機の統合的解決策
 - 循環的思考により直線的合理化（鉄の檻）の限界を克服
 - 宗教・倫理・経済の調和した循環的關係の復元
- 自然科学的根拠
 - アインシュタインの循環的世界観 — 相対性理論の原理のように
 - 複雑系理論 — 部分の和が全体より大きいという多元的循環性
- 具体的効果
 - 経済動機の回復および倫理性の復元
 - 個人と共同体、経済と倫理の間の均衡回復
 - 環境危機と体制理念の衝突の根本的解決



「循環は経済と倫理の諸問題を解決するポストモダン的な解決方法である。アインシュタインが円を通じてニュートン物理学を相対化し難題を解決したように、循環は互いに相反する直線運動を和解させる一段高い次元の運動である。」

結論および示唆点

- 大巡思想は経済・倫理・宗教が循環的に調和する経済観を促す
- 現代経済問題の克服のための多元的・循環的思考の必要性
- 東西思想の統合的応用の可能性を提示
- 倫理と経済の調和を通じた経済循環の回復を提案
- さらなる研究および実際の経済政策への反映が必要



「金は循環の理により生じて用いる物である」—大巡思想の循環的経済観
は、宗教-経済-倫理の調和的循環に基づく